



CLM レポートティング新機能のご紹介

DCC/JRS

(Data Collection Component/Jazz Reporting Service)

2014年10月3日

IBMラショナル ソフトウェア事業部

クライアントサポート部門

テクニカルサポートエンジニア

大澤浩二

Rational Software

アジェンダ

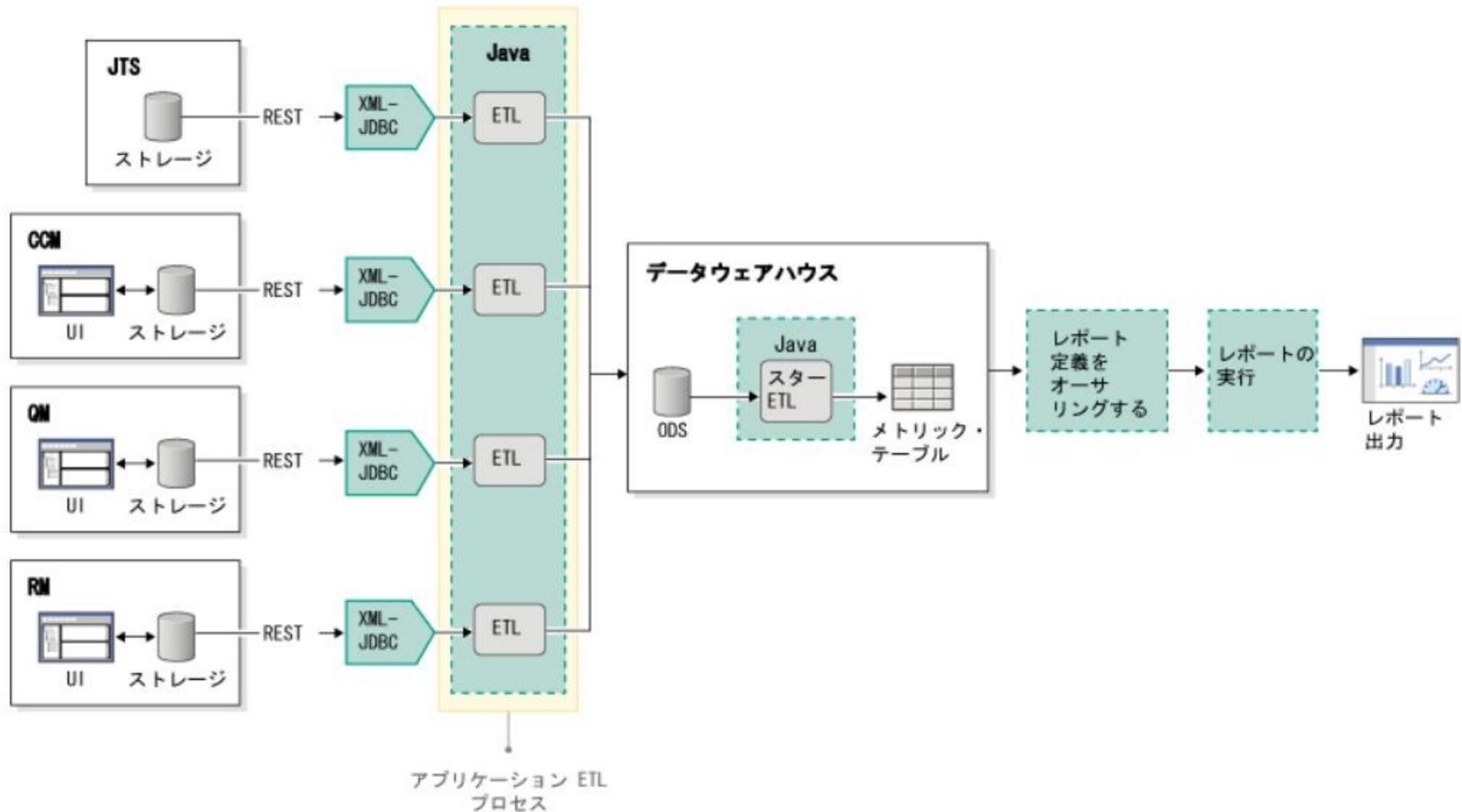
- DCC ご紹介
- JRS ご紹介
- トポロジー例
- <デモ> DCC と JRS
- DCC セットアップの流れ
- JRS セットアップの流れ
- まとめ

DCC (Data Collection Component) とは

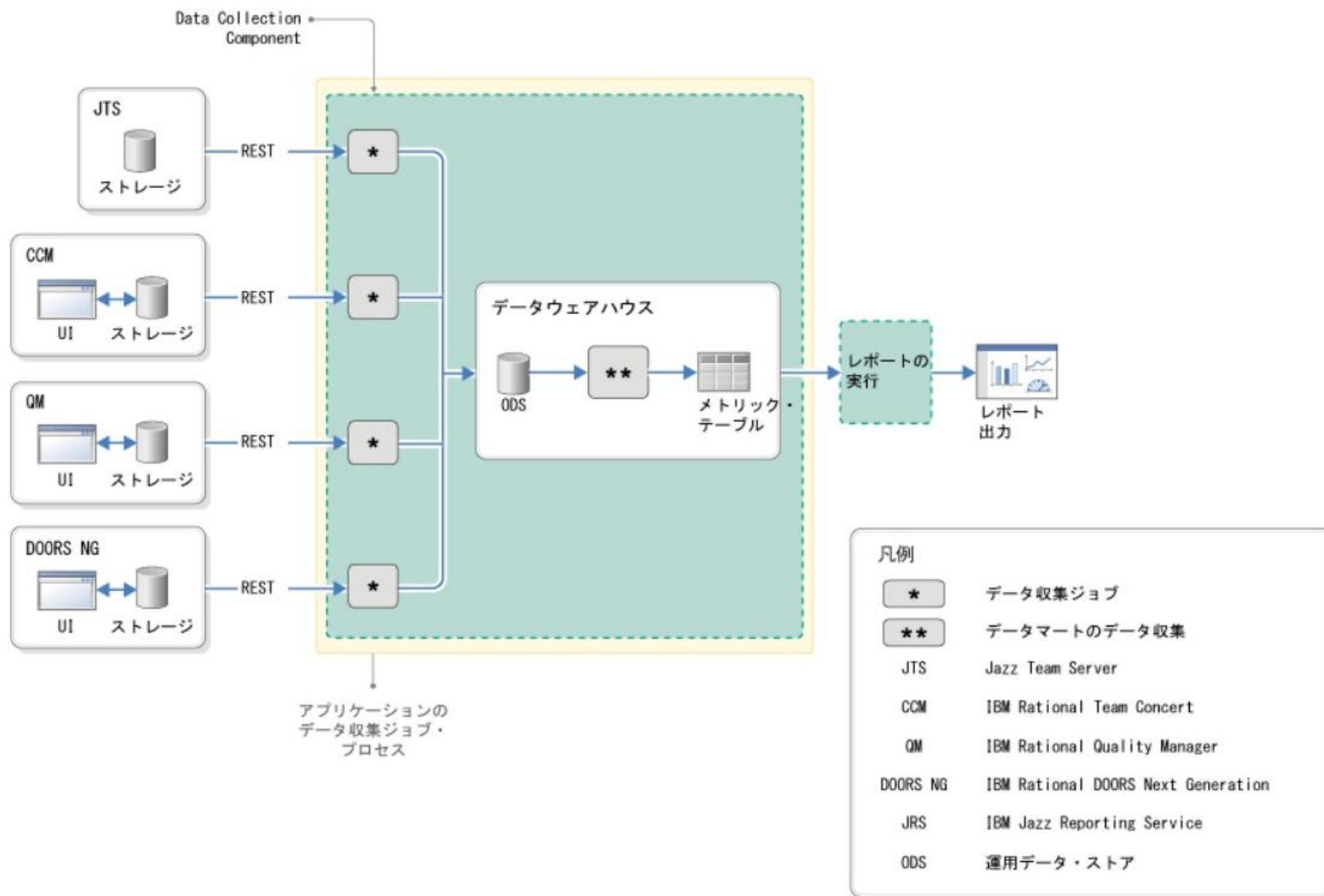
- **DCC: Data Collection Component (新機能)**
 - CLM アプリケーションに対してデータ収集ジョブ(ETL ジョブ)を実行し、データウェアハウスにデータをロードするコンポーネント
 - CLM 同梱のデータ収集ジョブ(Java ETL)と DCC を選択可能
 - CLM とは別の独立した Jazz アプリケーションとして稼動
- DCC によるメリット
 - スケジューリングの改善
 - パフォーマンスの改善



デフォルトのデータ収集ジョブフロー (Java ETL)

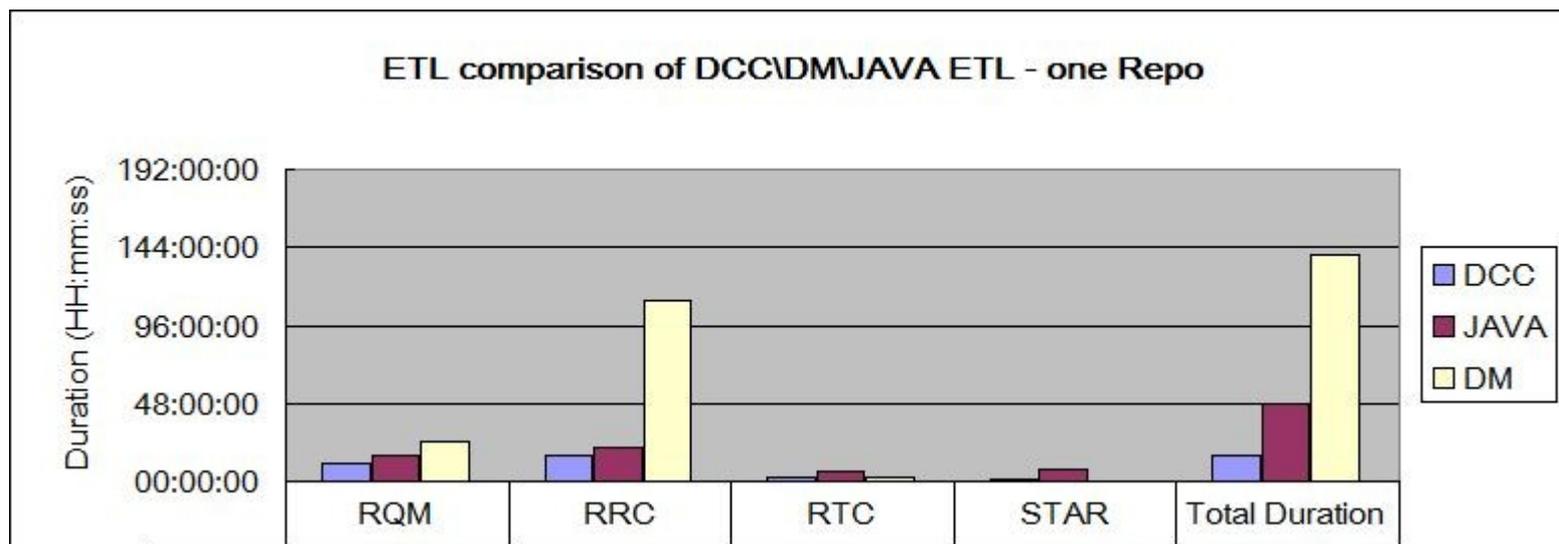


DCC データ収集ジョブフロー



Java ETL と DCC の比較

	Java ETL	DCC
稼動環境	CLM と同一 JVM 上で稼動	別の Web アプリケーション上で稼動
スケジュール	デフォルトで深夜 0 時 JTS で開始時刻を一括指定	曜日や時間間隔で定義可能
容易性	CLM 導入後すぐ利用可	別途セットアップが必要



<https://jazz.net/wiki/bin/view/Deployment/CLMDCCPerformanceReport50>

JRS (Jazz Reporting Service)とは

- **JRS: Jazz Reporting Service (新機能)**
 - 開発ライフサイクルレポート作成ツール
 - デフォルトで、要求管理、変更構成管理、品質管理の表あるいはグラフのレポートをダッシュボードのウィジェットとして利用可能
 - 独自のレポート・ウィジェットを定義し、ダッシュボードで利用可能。
 - CLMとは別の独立した Jazz アプリケーションとして稼動
- JRS によるメリット
 - レポート・ウィジェットの容易な定義

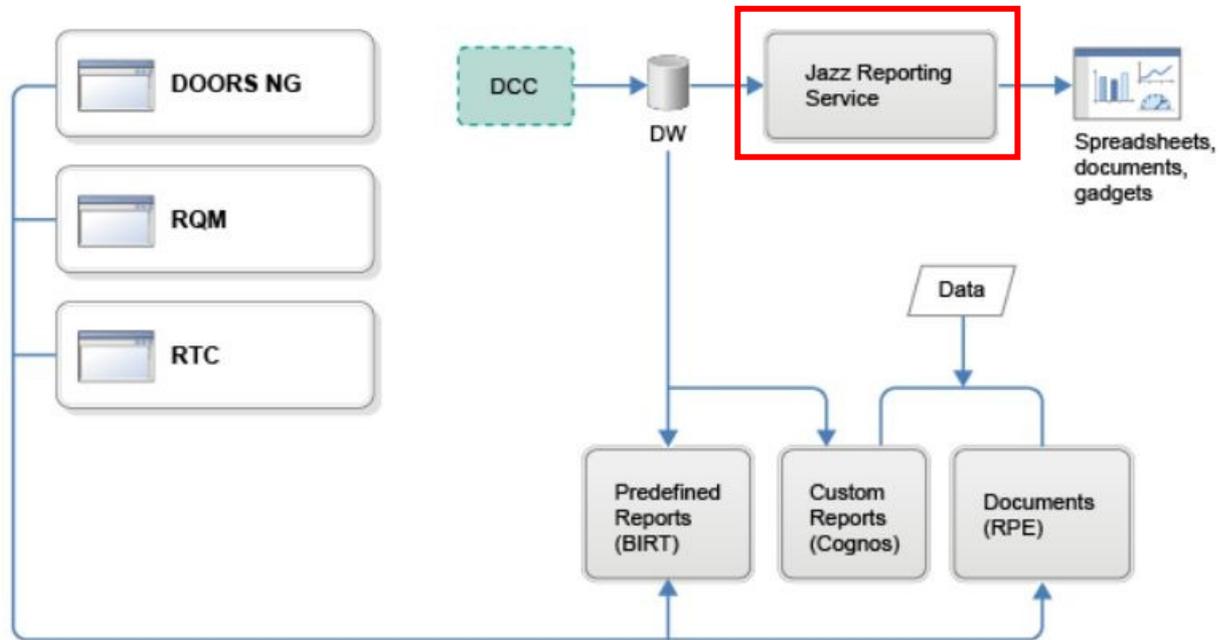
The screenshot displays the IBM Jazz Reporting Service interface. On the left, there is a sidebar with navigation icons for '使用' (Use), 'ビルド' (Build), and 'マイ・メニュー' (My Menu). The main area is titled 'JKE Banking' and contains several sections:

- レポートの検索** (Report Search): A search bar and a table of reports.
- チームの作業速度** (Team Work Speed): A bar chart showing the number of completed story points per iteration.
- ストーリーのトレーサビリティ** (Story Traceability): A table showing the progress of stories.
- 外部ウィジェットの追加** (Add External Widgets): A section for adding custom widgets.
- カテゴリの選択** (Category Selection): A dropdown menu for selecting report categories.
- アイテムのリスト** (Item List): A table listing items with columns for item name, owner, item, sev, prio, and date.

The 'チームの作業速度' widget includes a table with the following data:

Item name	Owner	Item	Sev	Prio	Date
Fuel injection - most parts	Rafiq	51	76	C7	Dec
Engine piston regulator	Henry	41	67	E1	Jan
Pump thermometer	Jamal	27	61	A2	Jan
Air bag safety monitor	Jukka	10	68	A5	Jan
Air bag locking protector	Mathew	14	23	C7	Jan
Injection chain	Felix	33	78	E1	Dec
Pump regulator	Maria	15	17	A4	Dec

JRS 処理フロー



Legend

DOORS NG	IBM Rational DOORS Next Generation
RQM	IBM Rational Quality Manager
RTC	IBM Rational Team Concert
DCC	IBM Data Collection Component
DW	data warehouse
BIRT	Business Intelligence and Reporting Tools
RPE	IBM Rational Publishing Engine

レポート作成ツールの比較

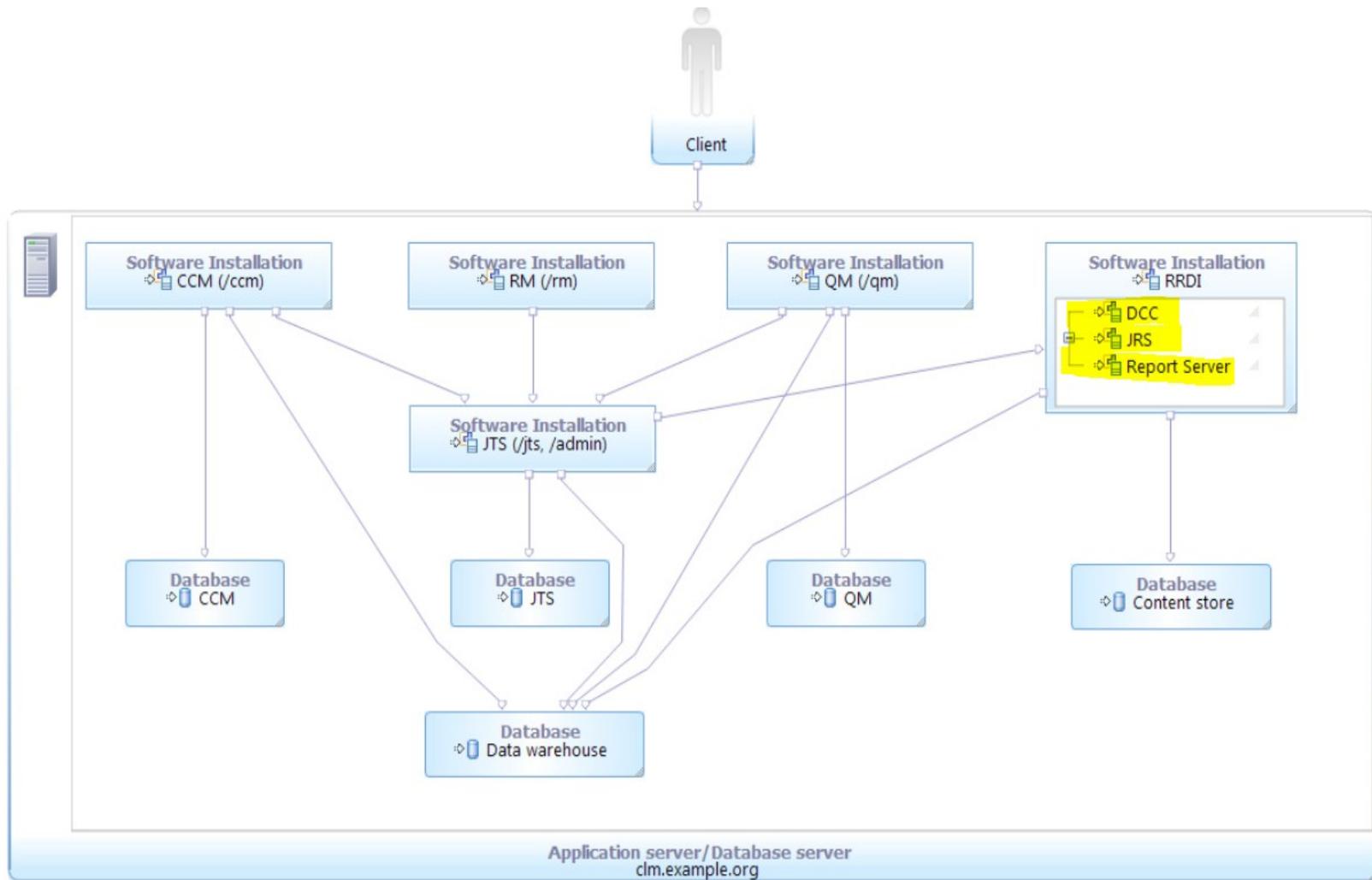
	BIRT	JRS	RRDI
レポート作成 自由度	高	中	高
レポート作成 難易度	中	低	高
環境構築 難易度	中	低	高
開発ライフサ イクルレポート の作成	不可	可	可

DCC/JRS インストール準備

- 注意点
 - 可能であれば Web インストーラーを推奨します。
 - DCC/JRS/レポート・サーバー全部で約 12GB
 - **DCC は Hotfix が必要です**
 - **JRS エディターは 5.0 では利用できません。**

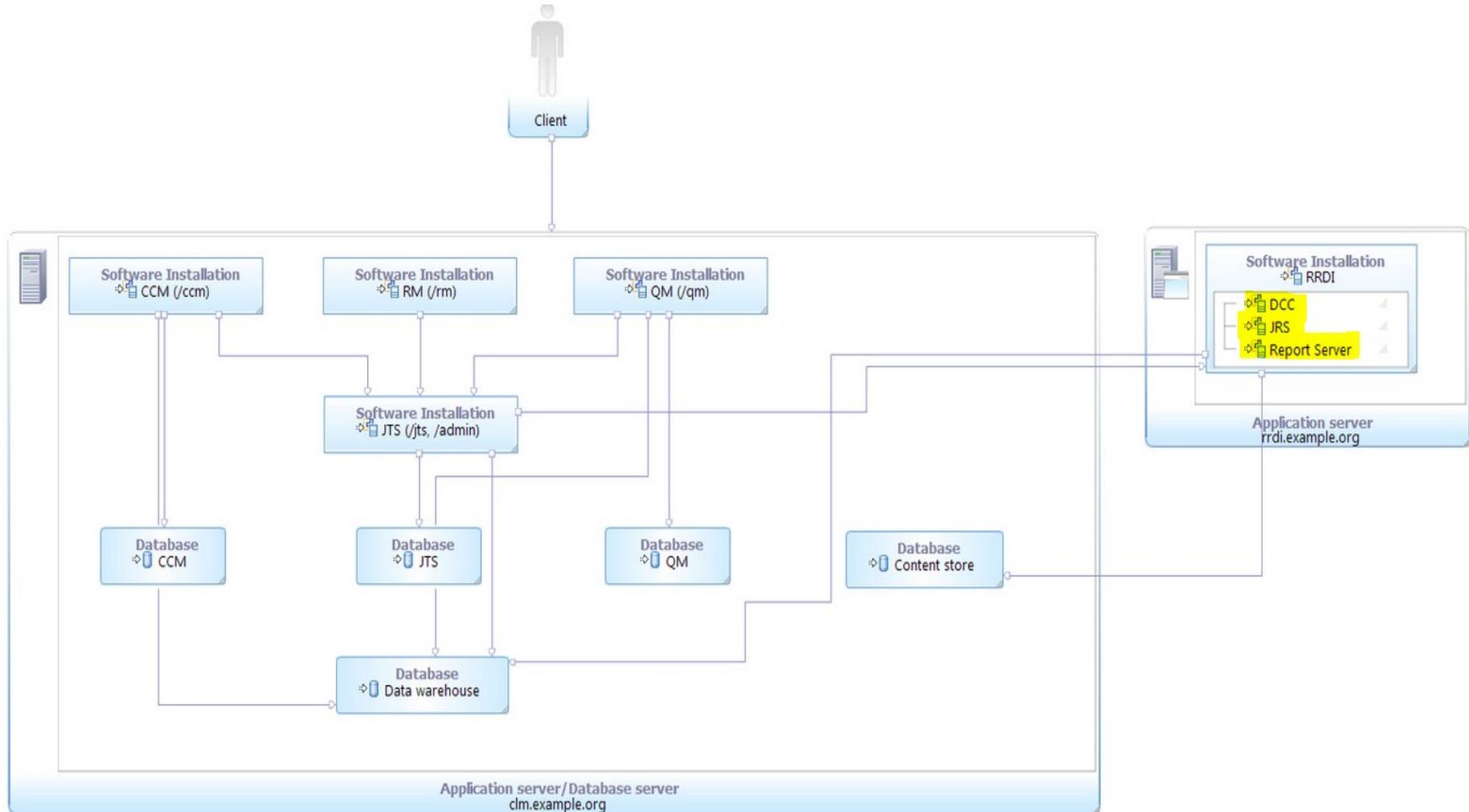
DCC/JRS インストール準備

単一サーバーのトポロジー



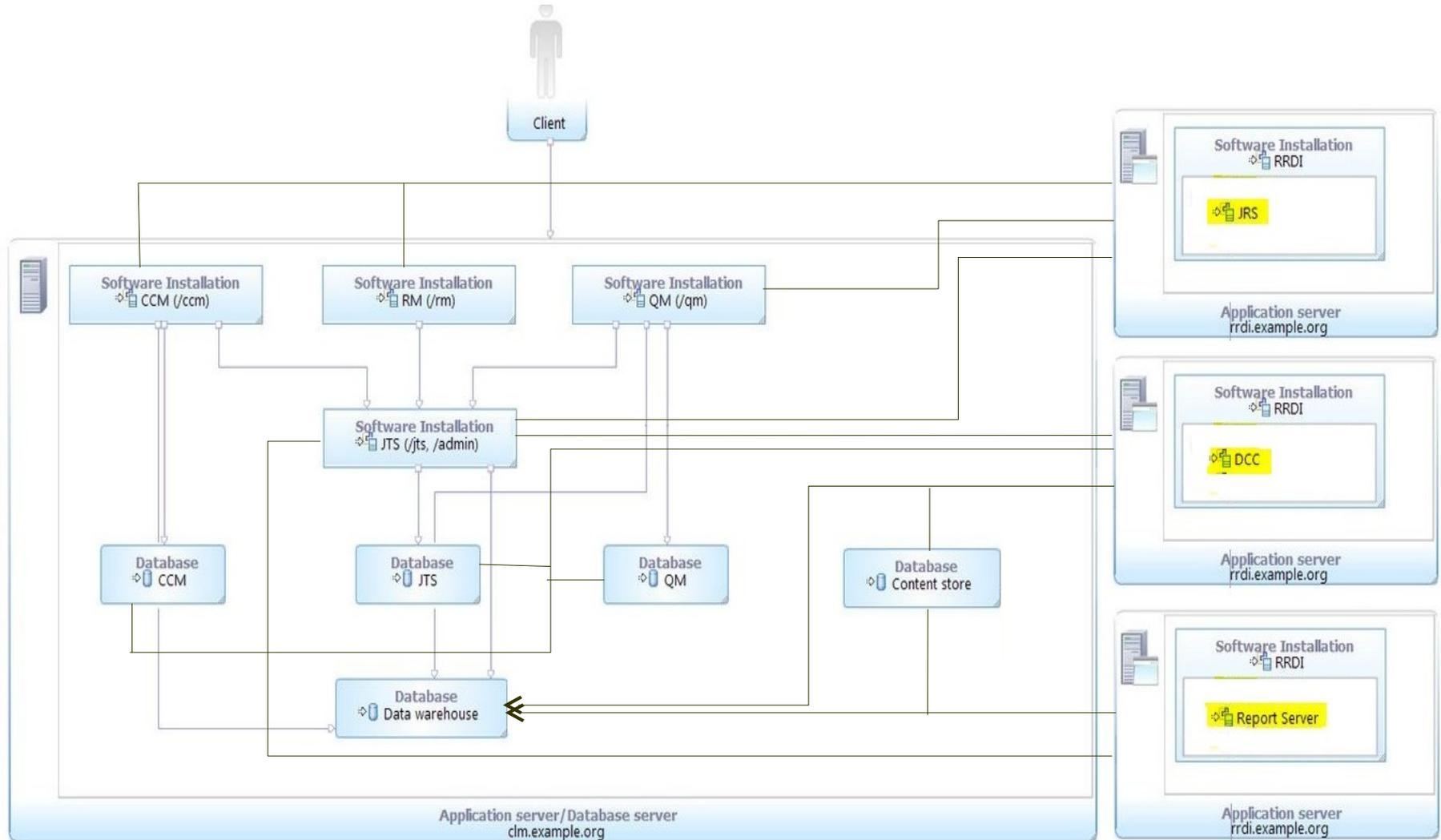
DCC/JRS インストール準備

2つのサーバーのトポロジー



DCC/JRS インストール準備

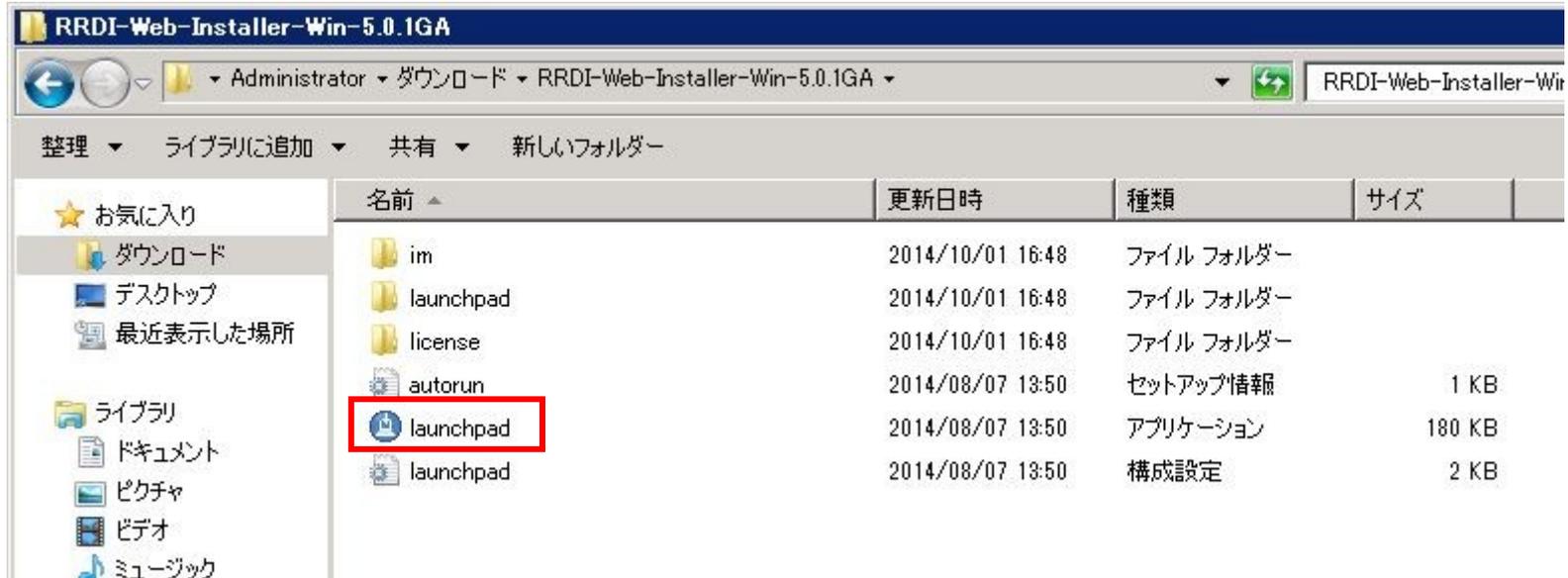
分散トポロジー



- **DCC**
 - CLM との統合イメージ
 - スケジューリング

- **JRS**
 - JRS レポート
 - JRS レポート・ウィジェットの利用
 - JRS レポート・ウィジェットの作成

DCC/JRS インストールの流れ



DCC/JRS インストールの流れ

Rational Reporting for Development Intelligence デプロイメント・ランチパッド

言語の選択: 日本語 OK

- ✓ ようこそ
- ✓ Rational Reporting の概要
 - ▶ データ収集コンポーネントのインストール
 - ✓ データ収集コンポーネントのセットアップ
 - ✓ Jazz レポート・サービスのインストール
 - ▶ リリース・ノートおよび関連情報
 - ▶ 終了

データ収集コンポーネント (DCC) のインストール

データ収集コンポーネントのインストールについて詳しくは、以下のインフォメーション・センターのセクションを参照してください。
[データ収集コンポーネントのインストール](#)

注 1: データ収集コンポーネントを既にインストールしている場合は、このステップをスキップして、先に進んでください。 **データ収集コンポーネントをセットアップします。**

注 2: データ収集コンポーネントを既存の CLM の Jazz Team Server に登録して、既存のデータウェアハウスを使用する計画の場合は、データ収集コンポーネントをインストールする前に、使用可能にされている、あるいはスケジュールされている (またはその両方の) CLM レポート・ジョブのすべてをオフにしてください。詳しくは、次を参照してください。 **インストールの準備をしています。**

DCC をインストールする準備ができたなら、以下をクリックして Installation Manager を起動し、先に進みます。

データ収集コンポーネントのインストール

Rational Reporting for Development Intelligence デプロイメント・ランチパッド

言語の選択: 日本語 OK

- ✓ ようこそ
- ✓ Rational Reporting の概要
 - ✓ データ収集コンポーネントのインストール
 - ▶ Jazz レポート・サービスのインストール
 - ▶ Jazz レポート・サービスのセットアップ
 - ▶ リリース・ノートおよび関連情報
 - ▶ 終了

Jazz レポート・サービスのインストール

Jazz レポート・サービスのインストールについて詳しくは、以下のインフォメーション・センターの [Jazz レポート・サービスのインストール](#)

注: Jazz レポート・サービスを既にインストールしている場合は、このステップをスキップして、先に進んでください。 **Jazz レポート・サービスをセットアップします。**

Jazz レポート・サービスをインストールする準備ができたなら、以下をクリックして Installation Manager を起動し、先に進みます。

Jazz レポート・サービスのインストール

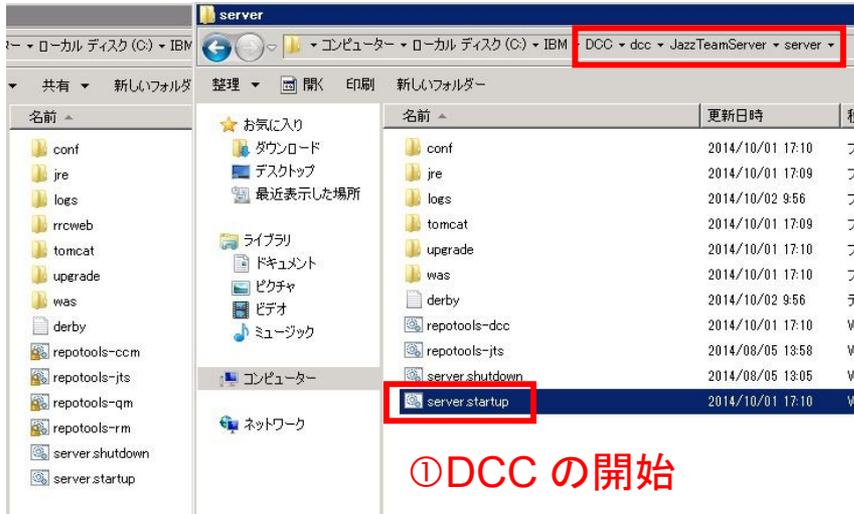
IBM Installation Manager

パッケージのインストール

インストールするパッケージを選択してください。

インストール	パッケージ
<input checked="" type="checkbox"/>	IBM Rational Jazz レポート・サービス
<input checked="" type="checkbox"/>	バージョン 5.0.1.0
<input type="checkbox"/>	IBM Rational Reporting for Development Intelligence
<input type="checkbox"/>	バージョン 5.0.1.0
<input checked="" type="checkbox"/>	IBM Rational データ収集コンポーネント
<input checked="" type="checkbox"/>	バージョン 5.0.1.0

DCC セットアップ



④ DCC セットアップ・ウィザードの開始

アプリケーションの追加

アプリケーションの追加

③ <https://server:11443/dcc/scr> を登録

プロパティ	
アプリケーション名:	/dcc
ディスカリリー URL:	https://clm.jkebanking.net:11443/dcc/scr
アプリケーションタイプ:	Rational Data Collection Component アプリケーション
コンシューマーの秘密情報:	•
秘密情報の再入力:	•
機能ユーザー ID:	dcc_user 参照...

終了

④ アプリケーションは正常に登録されました。このアプリケーションは、使用前に追加のセットアップを必要とします。 [アプリケーション/セットアップ・ウィザード](#) に進んで、登録を完了してください。

登録済みアプリケーション

登録済みアプリケーションを表示する場合、あるいは、新規にアプリケーションを登録する場合に、このページを使用します。自動構成をサポートするアプリケーションは、Jazz Team Server セットアップ・ウィザードを使用して登録してください。これは、Jazz Team Server に登録されたアプリケーションのリストです。これらのアプリケーションは、サービスを提供することも、この Jazz Team Server や他の登録済みアプリケーションによって提供されるサービスを消費することもできます。ユーザー・インターフェースにその名前が表示されます。名前は、この Jazz Team Server 上で固有で、組織内で意味があるものにしてください。ディスカリリー URL は、アプリケーションのディスカリリー URL を表します。

登録済みアプリケーション

新規アプリケーションをこの Jazz Team Server に登録する場合に「追加」を選択します。名前とディスカリリー URL (該当する場合) およびコンシューマーの「秘密情報」として使用するコード・フレームズの指定を求められます。また、アプリケーションで事前に許可された機能ユーザー ID を選択することもできます。これにより、アプリケーションは、Eメール通知の送信などのバックグラウンド・アクティビティ内で、ユーザーの介入なしに実行を行うことができます。同じタイプのアプリケーションの複数インスタンスを登録する場合は、すべてのインスタンスに同じ機能ユーザー ID を使用していただき、事前許可機能ユーザーを関連付けると、この Jazz Team Server での JazAdmins 許可がアプリケーションに付与されるため、信頼するアプリケーションについてのみ、この関連付けを許可してください。Jazz Team Server は自動的にこのアプリケーションのコンシューマー鍵を生成します。このコンシューマー鍵をコピーして、アプリケーションの構成に貼り付けることができます (手動構成を必要とするアプリケーションの場合)。

名前	アプリケーションタイプ	バージョン	ディスカリリー URL	コンシューマー鍵	状況
/admin	ライフサイクル・プロジェクト管理	5.0.1	https://clm.jkebanking.net:9443/admin/scr	a67ea61c2c7d452cad2f2f86b1a2c789	インストール済み
/ccm	変更管理と構成管理	5.0.1	https://clm.jkebanking.net:9443/ccm/scr	e09622dd5a484dca669658e702e9f2	インストール済み
/qm	品質管理	5.0.1	https://clm.jkebanking.net:9443/qm/scr	74e80251b4464ea9f51ddb5247d4dbd1	インストール済み
/rm	要求管理	5.0.1	https://clm.jkebanking.net:9443/rm/scr	da9b312cec504a71b6b0837de0b30e21	インストール済み
/dcc	Rational Data Collection Component アプリケーション	5.0.1	https://clm.jkebanking.net:11443/dcc/scr	aad187f290c042eab928dc5f6b567ad	インストール済み

DCC セットアップ

ADMIN | ログアウト

Jazz
アプリケーションのセットアップ

▼ RATIONAL DATA COLLECTION COMPONENT アプリケーション (RDC)

データベースの構成

アプリケーションのファイナライズ

データウェアハウスの構成

▼ LIFECYCLE PROJECT ADMINISTRATION

セットアップのファイナライズ

構成テストが正常に完了しました。設定を保存して続行するには「次へ」をクリックします。

データベースの構成

デフォルトで、このアプリケーション・モデルは、JDBC 接続を使用する事前構成済みデータベースが含まれています。このデフォルトを保持するか、異なるデータベース・ベンダーまたは接続タイプ (あるいは両方) を選択することができます。デフォルトを変更する場合は、いくつかの追加プロパティを構成する必要がある場合があります。また、「接続のテスト」ボタンを使用して、指定した接続情報でアプリケーションがデータベースと正常に通信できることを確認します。

ステップ 1: データベース・ベンダーおよび接続タイプの構成

データベース・ベンダー:

接続タイプ:

⑤ データベースの構成

ステップ 2: データベース接続プロパティの構成

プロパティ	現行値
JDBC パスワード	<input type="text"/>
JDBC データベースのパスワード。この値が、(password) がある JDBC ロケーション名に代入されます。	デフォルト値 なし
JDBC ロケーション	<input type="text" value="confidcc/derby/repositoryDB"/>
JDBC データベースのロケーション。ロケーション・パスワードが含まれる場合は、実際のパスワードの代わりに、値	デフォルト値 なし

ADMIN | ログアウト

Jazz
アプリケーションのセットアップ

▼ RATIONAL DATA COLLECTION COMPONENT アプリケーション (RDC)

データベースの構成

アプリケーションのファイナライズ

データウェアハウスの構成

▼ LIFECYCLE PROJECT ADMINISTRATION

セットアップのファイナライズ

ファイナライズおよびプロセスが完了しました。「次へ」をクリックして、続行してください。

アプリケーションのファイナライズ

このアプリケーションの構成を完了するためには、完了する必要がある操作がいくつかあります。このステップは、これらの操作の状況に関するフィードバックを提供します。このステップが完了すると、アプリケーションのセットアップが完了します。

ステップ 1: ファイナライズ処理の開始

ファイナライズ処理は、コンシューマー・ストアおよびコンシューマー・秘密の保管とユーザーの同期化という 2 つの部分から構成されています。開始するには、下のボタンをクリックします。

アプリケーションのセットアップのファイナライズ

ステップ 2: 進行状況の表示

- 登録の完了
これで、このアプリケーションのデータベースが構成されました。この操作は、アプリケーションの Jazz Team Server への登録を完了します。
- ユーザーの同期化の実行
この操作は、Jazz Team Server に保管されたユーザー・レコードをこのアプリケーションと同期します。

⑥ アプリケーションのファイナライズ

ADMIN | ログアウト

Jazz
アプリケーションのセットアップ

▼ RATIONAL DATA COLLECTION COMPONENT アプリケーション (RDC)

データベースの構成

アプリケーションのファイナライズ

データウェアハウスの構成

▼ LIFECYCLE PROJECT ADMINISTRATION

セットアップのファイナライズ

続行するには、「次へ」をクリックしてください。

データウェアハウスの構成

データウェアハウスは、レポート作成と分析に使用されるデータベースです。デフォルトではこの値は Jazz Team Server が提供し、このアプリケーションのために変更してはなりません。デフォルトを変更する場合は、いくつかの追加プロパティを構成する必要があります。また、デフォルトを変更した場合は、「接続のテスト」ボタンを使用して、指定した接続情報でサーバーがデータベースと正常に通信できることを確認します。

今はデータウェアハウスを構成しません。

ステップ 1: データウェアハウス・データベース・ベンダーおよび接続タイプの構成

データベース・ベンダー:

接続タイプ:

⑦ データウェアハウスの構成 (CLM の DW に接続します)

ステップ 2: データウェアハウス・データベース接続プロパティの構成

プロパティ	現行値
JDBC パスワード	<input type="text" value="*****"/>
JDBC データベースのパスワード。この値が、(password) がある JDBC ロケーション名に代入されます。	デフォルト値 なし
JDBC ロケーション	<input type="text" value="//localhost:50000/DW?user=db2admin,password={password};"/>
JDBC データベースのロケーション。実際のパスワードの代わりに、値 (password) を使用してください。	デフォルト値 なし

ADMIN | ログアウト

Jazz
アプリケーションのセットアップ

▼ RATIONAL DATA COLLECTION COMPONENT アプリケーション (RDC)

データベースの構成

アプリケーションのファイナライズ

▼ LIFECYCLE PROJECT ADMINISTRATION

セットアップのファイナライズ

このアプリケーションの構成を完了するためには、完了する必要がある操作がいくつかあります。このステップは、これらの操作の状況に関するフィードバックを提供します。このステップが完了すると、直ちにアプリケーションのセットアップは完了します。「次へ」をクリックして続行することができます。

アプリケーションは正常にファイナライズされました。

ステップ 1: ファイナライズ処理の開始

ファイナライズ処理は、LPA サービス割当て、アプリケーション・リンク、ストレージ構成の作成、デフォルト・テンプレート・デプロイメントなどの複数のステップで構成されています。開始するには、下のボタンをクリックします。

アプリケーションのセットアップのファイナライズ

ステップ 2: 進行状況の表示

- アプリケーションのリンク
これで、アプリケーションのすべては Jazz Team Server に登録されました。アプリケーションを合わせてリンクしてください。そうすると、互いに連携し合うことができます。アプリケーション・リンクすることによって、アプリケーション間でプロジェクト・エリアがリンクできるだけでなく、他のアプリケーション間通信も可能になります。

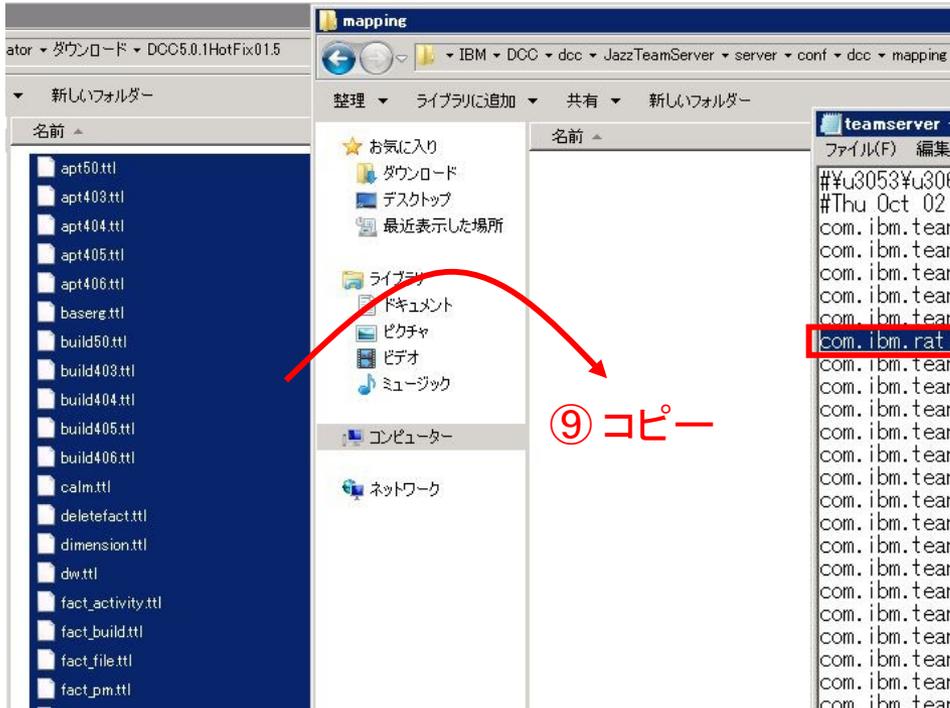
戻る 次へ 終了

⑧ セットアップのファイナライズ

DCC セットアップでの注意点 - HotFix の適用

- <https://jazz.net/downloads/RRDI/releases/5.0.1?p=allDownloads> よりダウンロードした HotFix を展開し、(DCC)\dcc\JazzTeamServer\server\conf\dcc\mapping にコピーします。
- (DCC)\dcc\JazzTeamServer\server\conf\dcc\teamserver.properties にて com.ibm.rational.datacollection.initialized を **false** に変更します。
- **変更後、再起動します。**

Description	Platform
Compressed File (.zip)	
Data Collection	All (258.2 KB)
Component HotFix	



```
teamserver - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
#¥u3053¥u306E¥u69CB¥u6210¥u306E¥u66F4¥u65B0¥u306F¥u3001"ADMIN" ¥u306B¥u3088¥u3063¥u306
#Thu Oct 02 10:10:50 JST 2014
com.ibm.team.repository.server.jts.url=https://clm.ikeybanking.net¥:9443/jts
com.ibm.team.repository.db.jdbc.location=conf/dcc/derby/repositoryDB
com.ibm.team.jfs.index.root.directory=indices
com.ibm.team.repository.auth.whitelist=
com.ibm.team.repository.changeEvent.expirationDefault=1209600
com.ibm.rational.datacollection.initialized=false
com.ibm.team.repository.server.webapp.url=https://clm.ikeybanking.net¥:11443/dcc
com.ibm.team.repository.db.repoLockId=-t0B0n0EeSWnZfXEY2IYw
com.ibm.team.datawarehouse.db.vendor=db2
com.ibm.team.repository.ws.allow.admin.access=false
com.ibm.team.repository.web.suppressedPages=["com.ibm.team.repository.web.admin¥: ["c
com.ibm.team.repository.db.vendor=DERBY
com.ibm.team.datawarehouse.db.jdbc.password=[UAv6uxPwZvKqhIZHiC9JRg¥=¥=]
com.ibm.team.datawarehouse.datawarehouse.provider=Remote
com.ibm.team.datawarehouse.web.helpuri=/clmhelp/index.jsp
com.ibm.team.datawarehouse.auth.userId=etl_user
com.ibm.team.datawarehouse.db.automatic.setup=true
com.ibm.team.datawarehouse.auth.password=[mDFshE2tYSiqhIZHiC9JRg¥=¥=]
com.ibm.team.fulltext.indexLocation=conf/dcc/indices/workitemindex
com.ibm.team.datawarehouse.db.jdbc.location=//localhost¥:50000/DW¥:user¥=db2admin;pass
com.ibm.team.repository.ws.allow.identity.assertion=false
com.ibm.team.repository.changeEvent.expirationByCategory=SystemLog¥:259200
com.ibm.team.repository.cluster.isInCluster=false
com.ibm.team.datawarehouse.datawarehouse.jobs.enabled=true
com.ibm.team.repository.setup.registration.pendingOAuthConsumer=
com.ibm.team.repository.setup.registration.pendingJtsFriend=
```

⑨ コピー

@false に変更

DCC 構成

Rational Data Collection Component アプリケーション (Jdc)

Data Collection Component clmadmin

データ収集コンポーネント

- データ収集
 - データ収集ジョブ
 - データ収集ジョブの状況
- 構成
 - データウェアハウスの接続
 - リソース・グループの構成**
 - デルタ・ロードの構成

リソース・グループの構成

データ収集ジョブを実行する前に、リソース・グループをセットアップする必要があります。リソース・グループは、収集したいデータを含むアプリケーションです。ローカルまたは外部の Jazz Team Server に登録されているアプリケーション

リソース・グループの追加

登録済みアプリケーションからリソース・グループを追加します。

アプリケーションを見つけるために外部 JTS を使用

アプリケーション・インスタンス	アプリケーション・タイプ	基本 URL
<input checked="" type="checkbox"/> /ccm	変更管理と構成管理	https://clm.jkebanking.net:9443/ccm
<input checked="" type="checkbox"/> /qm	品質管理	https://clm.jkebanking.net:9443/qm
<input checked="" type="checkbox"/> clm.jkebanking.net:9443/jts	Rational Jazz Team Server	https://clm.jkebanking.net:9443/jts
<input checked="" type="checkbox"/> /rm	要求管理	https://clm.jkebanking.net:9443/rm

OK キャンセル

ディスカバー

データ収集

- データ収集ジョブ
- データ収集ジョブの状況

構成

- データウェアハウスの接続
- リソース・グループの構成**

リソース・グループの構成

データ収集ジョブを実行する前に、リソース・グループをセットアップする必要があります。リソース・グループは、収集したいデータを含むアプリケーションです。アプリケーションを自動的に検出するには、「ディスカバー」をクリックします。リソース・グループを手動で追加するには、「追加」をクリックします。

- Rational Reporting Data Warehouse Database
- Rational Quality Manager

データ収集

- データ収集ジョブ
- データ収集ジョブの状況

構成

- データウェアハウスの接続
- リソース・グループの構成**
- デルタ・ロードの構成

リソース・グループの構成

データ収集ジョブを実行する前に、リソース・グループをセットアップする必要があります。リソース・グループは、収集したいデータを含むアプリケーションです。アプリケーションを自動的に検出するには、「ディスカバー」をクリックします。リソース・グループを手動で追加するには、「追加」をクリックします。

Rational Reporting Data Warehouse Database

- A Relational Database DataSource

プロパティ	現行値
名前	A Relational Database DataSource
リレーショナル・データベース・タイプ	DB2
URL	localhost:50000/DW
認証のタイプ	JDBC
ユーザー名	db2admin
パスワード
バージョン	5.0

現行値

- Rational Quality Manager (0)
- https://clm.jkebanking.net:9443/qm
- ユーザー名とパスワード
 - clmadmin
 -
- 5.0

DCC への切り替え

The image shows three screenshots of the Rational Jazz Team Server interface, illustrating the configuration of the Data Collection Component (DCC) for different areas: /rm, /qm, and /ccm.

Each screenshot shows the "Data Collection Component" configuration page. The left sidebar contains navigation options: "データ収集" (Data Collection), "構成" (Configuration), and "レポート" (Reports). The main content area displays the "データ収集ジョブ" (Data Collection Job) configuration, including the "ジョブ・スケジュール" (Job Schedule) and "データウェアハウス収集ジョブ" (Data Warehouse Collection Job) settings.

The "データウェアハウス収集ジョブ" section shows a list of components to be included in the data collection job. The components are listed with checkboxes and labels:

- Common
- Repository
- Requirements
- Quality Management
- Work Items

In all three screenshots, the checkboxes for "Common", "Repository", and "Requirements" are highlighted with red boxes, indicating that these components are selected for inclusion in the data collection job.

全てのアプリケーションの JavaETL を無効化し、DCC に切り替えま

The image shows the Rational Data Collection Component (DCC) application configuration page. The title bar indicates "Rational Data Collection Component アプリケーション (dcd)".

The left sidebar contains navigation options: "データ収集" (Data Collection), "構成" (Configuration), and "レポート" (Reports). The main content area displays the "データ収集ジョブ" (Data Collection Job) configuration.

The "データ収集ジョブ" section shows a list of components to be included in the data collection job. The components are listed with checkboxes and labels:

- Rational Data Collection Componentによるデータ収集を使用可能にする

The checkbox for "Rational Data Collection Componentによるデータ収集を使用可能にする" is checked, indicating that data collection using the Rational Data Collection Component is enabled.

DCC スケジューリング

データ収集ジョブ

Rational Data Collection Componentによるデータ収集を使用可能にする

Rational Data Collection Componentで構成されたデータウェアハウス・データベースが、他の2つのシステムのいずれかにあるデータベースと同じである場合は、すべての CLM Java コレクション、または Insight ETL を使用不可にしてください。これらのジョブを使用不可にしないと、データが破損する可能性があります。

すべてのデータウェアハウス収集ジョブの実行

ODS データ収集

実行 | スケジュール

- Change and Configuration Management - Planning 5.0
- Jazz Foundation Services - Core 5.0
- Jazz Foundation Services - Statistics 5.0
- Quality Management 5.0
- Requirement Management 5.0
- Change and Configuration Management - Build 5.0
- Change and Configuration Management - Source Control 5.0
- Change and Configuration Management - Work Items 5.0
- Change and Configuration Management - Time Sheets (Part 1)
- Change and Configuration Management - Time Sheets (Part 2)
- Change and Configuration Management - Time Sheets (Part 3)

スケジュールの編集

間隔スケジュール 間隔スケジュール

使用可能

間隔
現行時間間隔: 分

曜日

月曜日	<input type="button" value="すべて"/> <input type="button" value="なし"/>
火曜日	
水曜日	
木曜日	
金曜日	
土曜日	
日曜日	

アイドル
アイドル

スケジュールの編集

日次スケジュール 日次スケジュール

使用可能

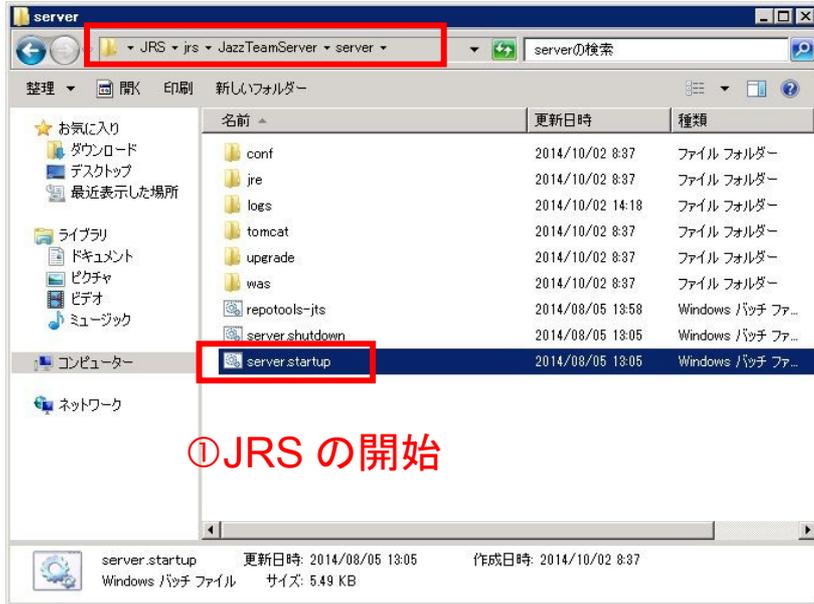
時刻

時刻の作成		
15	00	✕
19	00	✕
22	00	✕

曜日

月曜日	<input type="button" value="すべて"/> <input type="button" value="なし"/>
火曜日	
水曜日	
木曜日	
金曜日	
土曜日	
日曜日	

JRS セットアップ



③ https://server:12443/rs/scr を登録

アプリケーションの追加

アプリケーションの追加

プロパティ	値
アプリケーション名:	jrs
ディスカバリ URL:	https://clm.jkebanking.net:12443/rs/scr
アプリケーションタイプ:	Jazz レポート・サービス
コンシューマーの秘密情報:	•
秘密情報の再入力:	•
機能ユーザー ID:	jrs_user 参照...

終了 キャンセル



JRS セットアップ

④ 各アプリケーションと JRS(https://server:12443/rs/root services) をフレンド設定する

アプリケーション管理 - 要求管理 (/rm)

フレンドの追加

1 フレンドの追加 2

フレンドの追加

プロパティ

名前	JRS
ルートサービス URI	https://clm.jkebanking.net:12443/rs/root services
OAuth の秘密情報	
秘密情報の再入力	
トラステッド	<input checked="" type="checkbox"/>

フレンドの作成

< 戻る 次へ > 終了 キャンセル

アプリケーション管理 - 品質管理 (/qm)

フレンドの追加

1 フレンドの追加 2

フレンドの追加

プロパティ

名前	JRS
ルートサービス URI	https://clm.jkebanking.net:12443/rs/root services
OAuth の秘密情報	
秘密情報の再入力	
トラステッド	<input checked="" type="checkbox"/>

フレンドの作成

< 戻る 次へ > 終了 キャンセル

アプリケーション管理 - 変更管理と構成管理 (/ccm)

フレンドの追加

1 フレンドの追加 2

フレンドの追加

プロパティ

名前	JRS
ルートサービス URI	https://clm.jkebanking.net:12443/rs/root services
OAuth の秘密情報	
秘密情報の再入力	
トラステッド	<input checked="" type="checkbox"/>

フレンドの作成

< 戻る 次へ > 終了 キャンセル

https://clm.jkebanking.net:12443/its/admin/action/com.ibm.team.repository.admin.configfigureOAuth

登録済みのアプリケーション

アプリケーション名	秘密情報	機能ユーザー ID	要求の対象	トラステッド	許可済み
clm.jkebanking.net	98e67b6aa278426b88e344b20d9d75		トラステッド	<input checked="" type="checkbox"/>	承認
clm.jkebanking.net	ea7d8ae777514126160171e2d93939f9		トラステッド	<input checked="" type="checkbox"/>	承認
clm.jkebanking.net	c2c42bee5242418380b8316904b67622		トラステッド	<input checked="" type="checkbox"/>	承認

⑤ JTS でフレンド申請を承認する

JRS セットアップ

◎ <https://server:12443/rs/setup> にてセットアップ完了

✓



データ・ソースに接続

以下のデータ・ソースが作成されました:

Rational データウェアハウス

データ・ソースを管理するには、データ・ソース にアクセスしてください

✓



すぐに使用可能なレポートのインポート

Rational データウェアハウス
27 件のレポート

IBM、ビジネス・パートナーなどにより提供されたレポートなど、追加レポートをインポートします。

↓



レポート・マネージャーの選択

レポート・マネージャーとして指定するユーザーを選択します。



すべての JKE Banking (変更管理) ダッシュボード >

JKE Banking

一般 | 計画 | 要求 | 開発 | ビルド | テスト | 傾向 | 安定化

自動保存 | 保存

ウィジェットの追加

カタログの選択: 変更管理と構成管理 (/ccm)

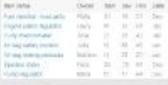
検索...

アプリケーション

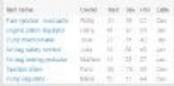
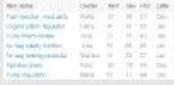
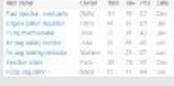
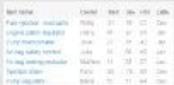
- 変更管理と構成管理 (/ccm)
- Jazz レポート・サービス (Jazz レポート・サービス)**
- Rational Jazz Team Server (clm.jkebanking.net:9443/jts)
- 品質管理 (/qm)
- 要求管理 (/rm)

Tip of the Week

JRS デフォルト・レポート

タイプ	名前	説明
	Iteration Health - Completed Work Items	Iteration Health - Completed Work Items
	Iteration Health - Remaining Work Items	Iteration Health - Remaining Work Items
	ストーリーのトレーサビリティ	追跡先の要件、テスト・ケース、およびテスト実行中に検出された未完了の障害数のカウントを含む未完了のユーザー・ストーリーの表を示します。単一のチーム・エリアでフィルタリングし、オプションで反復名によりフィルタリングします。
	チームの作業速度	各反復で完了したストーリー・ポイントの数を示します。
	チームの依存関係	他のチームの未完了ワークアイテムによりブロックされている未完了ワークアイテムのリストを、ブロックしているチームの名前と重大度によって順序付けして表示します。ブロックされた項目のリストをフィルタリングするために 1 つ以上のチーム・エリアを選択します。
	テスト・ケース別障害グラフ	テストの実行中に検出された障害の未完了の数と完了済みの数を対比させた、各テスト・ケースの棒グラフを表示します。フィルター・プロンプトにプロジェクト・エリアごとに表示されている、1 つ以上のテスト計画によってフィルタリングしてください。
	テスト・ケース別障害リスト	テスト・ケースによるテスト実行中に検出された障害の未完了の数、完了済みの数、および総数を示します。このレポートで対象とする 1 つ以上のテスト計画を選択します。
	ビルドの所要時間と成功	過去 7 日間での 1 つのビルド定義のビルドごとの所要時間と成功を表示します。
	ブロックしているワークアイテム	別のワークアイテムあるいはテスト実行記録をブロックしている未完了ワークアイテムのリストを表示します。
	リリース状況 - ストーリー (未完了)	リリース状況 - ストーリー (未完了)

JRS デフォルト・レポート

	リリース状況 - ストーリーの数	リリース状況 - ストーリーの数
	リリース状況 - 完了済みストーリー	リリース状況 - 完了済みストーリー
	リリース状況 - 未完了の障害数	リリース状況 - 未完了の障害数
	リリース状況グラフ	リリースの未完了ストーリーおよび完了済みストーリーの数のグラフを示します。
	リリース状況リスト	リリースに対する残りの未完了ストーリーのリストを表示します。
	優先順位別障害のグラフ	優先順位別障害の総数を示します。
	優先順位別障害のリスト	ワークアイテムとその優先順位のリストを表示します。
	削除されたスコープ	反復の開始後に現在の反復スコープから削除されたワークアイテムを表示します。
	反復の正常性	予定表でフィルタリングされた現在の反復の正常性を解釈するために使用できる多様な統計を表示します。開始日と終了日を参照して、現在の進行中の反復のみを表示します。
	変更セット・アクティビティ	1つ以上のストリームについて、過去7日間での1日当たりの変更セットの総数を表示します。
	未完了ストーリー	現在の反復をターゲットとしている、まだ完了していないストーリーを示します。

JRS デフォルト・レポート

Item name	Created	Run	Pass	Fail	Total
Full Specifier - most active	10/15	27	19	27	246
Logins action - logoff	10/15	47	30	37	161
Logins main module	10/15	11	14	42	66
Logins table - connect	10/15	49	40	43	132
Logins table - disconnect	10/15	11	22	27	101
Openid action	10/15	20	19	40	154
Print request	10/15	11	11	44	101

消費時間に対する変更

消費時間が最近 7 日間以内に更新されているワークアイテムのリストを表示します。

Item name	Created	Run	Pass	Fail	Total
Full Specifier - most active	10/15	27	19	27	246
Logins action - logoff	10/15	47	30	37	161
Logins main module	10/15	11	14	42	66
Logins table - connect	10/15	49	40	43	132
Logins table - disconnect	10/15	11	22	27	101
Openid action	10/15	20	19	40	154
Print request	10/15	11	11	44	101

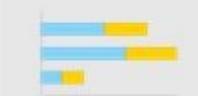
要求ごとのテスト・ケース

要求ごとのテスト・ケースの総数を表示します。関連付けられたテスト・ケースでの要求のみを表示します。



要求ごとのテスト実行

要求ごとの実行状況別テスト・ケース数を含むグラフを示します。



要求別障害グラフ

要求別にグループ化されたテストの実行中に検出された障害の未完了の数、完了済みの数を対比させて示します。影響元関係を使用してリンク付けされた障害の要求のみが対象とされます。

Item name	Created	Run	Pass	Fail	Total
Full Specifier - most active	10/15	27	19	27	246
Logins action - logoff	10/15	47	30	37	161
Logins main module	10/15	11	14	42	66
Logins table - connect	10/15	49	40	43	132
Logins table - disconnect	10/15	11	22	27	101
Openid action	10/15	20	19	40	154
Print request	10/15	11	11	44	101

要求別障害リスト

要求別にグループ化されたテストの実行中に検出された障害の未完了の数、完了済みの数、および総数を表示します。影響元関係を使用してリンク付けされた障害の要求のみが対象とされます。

Item name	Created	Run	Pass	Fail	Total
Full Specifier - most active	10/15	27	19	27	246
Logins action - logoff	10/15	47	30	37	161
Logins main module	10/15	11	14	42	66
Logins table - connect	10/15	49	40	43	132
Logins table - disconnect	10/15	11	22	27	101
Openid action	10/15	20	19	40	154
Print request	10/15	11	11	44	101

追加されたスコープ

反復の開始日の後に現行の反復スコープに追加されたワークアイテムを表示します。

JRS レポート・エディター

IBM Jazz レポート・サービス Q&R 管理 データ・ソース clmadmin ▾

使用

ビルド

マイ・メニュー

データの選択結果のフォーマット設定レポートの終了

1 成果物タイプ

レポートの対象とする成果物のタイプを選択します。

変更管理

- ワークアイテム
- ワークアイテムの状態履歴
- ワークアイテム履歴

構成管理

- ビルド

品質管理

- Lab リソース
- テスト・ケース
- テスト・スイート
- テスト・スクリプト
- テスト計画
- 実行ログファイル

データ・ソース: Rational データウェアハウス

継続

自分の選択項目

選択をクリア

レポート・タイプ:
表

成果物タイプ: ✎
ワークアイテム

2 プロジェクト

3 条件

※ 要求管理タイプは 5.0.2 にて追加予定です。

- **DCC: Data Collection Component (新機能)**
 - CLM アプリケーションに対してデータ収集ジョブ(ETL ジョブ)を実行し、データウェアハウスにデータをロードするコンポーネント
 - CLM 同梱のデータ収集ジョブ(Java ETL)と DCC を選択可能
 - CLM とは別の独立した Jazz アプリケーションとして稼動
- **JRS: Jazz Reporting Service (新機能)**
 - 開発ライフサイクルレポート作成ツール
 - デフォルトで、要求管理、変更構成管理、品質管理の 27 の表あるいはグラフのレポートをダッシュボードのウィジェットとして利用可能
 - 独自のレポート・ウィジェットを定義し、ダッシュボードで利用可能。
 - CLM とは別の独立した Jazz アプリケーションとして稼動

追加情報

トレーニング・マテリアル

- CLM Reporting 2012
- Other...

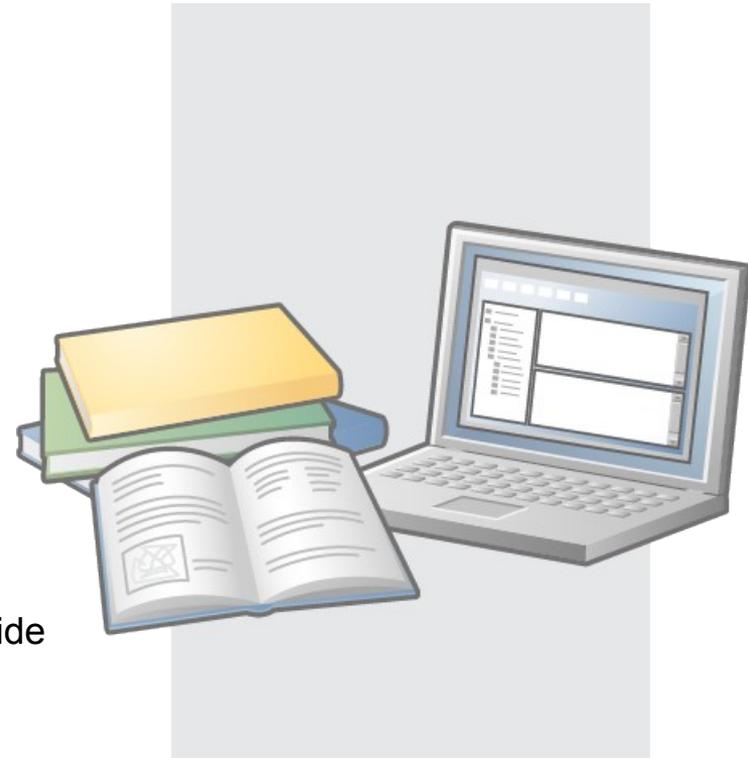
IBM 内サポート・マテリアル

- Insight メール・グループ
 - RATL-INSIGHT-WW-CHAT
 - RATL-INSIGHT-ALL
- Insight Log Analyzer (Stand Alone)
- Insight Log Analyzer (Archive Explorer)
- Reporting in the Knowledge Center
- Data Dictionaries
- Deployment Wiki
- DCC Hotfix
- Writing Report Definitions



書籍 / 記事 / ビデオ :

- IBM Cognos Business Intelligence v10: The Complete Guide
- IBM Cognos 10 Report Studio: Practical Examples
- Installing/Configuring/Deploying JRS 5.0 (YouTube)
- Integrating DCC with Insight
- jazz.net articles:
 - DCC Performance Report



免責事項

当資料は、お客様の問題解決のためのヒントとしてご利用ください。当資料における記載内容は、お客様固有の問題に対し適切であるかどうか、また正確であるかどうかは十分検証されていません。結果についていかなる保証も責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。